



テラス(自在桁はね出し、後やぐら、傾斜納まり)

取付け説明書

●この説明書について

- ・他の商品と共通となっておりますので、商品によっては設定のない仕様も掲載されております。
- ・必ず取付けされる方にお渡しください。

■取付けされる方へのお願い

- 本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

- ▲注意** …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。
冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

※製品破損による人への被害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

●設置条件

- ・傾斜納まりは木造住宅2階以下に取付けてください。3階以上には絶対に取付けないでください。

※水漏れのおそれがありますので、下記事項をお守りください。

●シーリングについて

- ・シーリングは指定個所に必ず行ってください。
- ・外壁の上から部材を取付ける場合は、コーキング材を下穴に充てんしてからねじ止めしてください。

■取付け上のお願い

- 取付けは専門業者が行ってください。

■目次

- 自在桁はね出し納まりの取付け……………P.3～4
- 後やぐら納まりの取付け……………P.5～7
- 傾斜納まりの取付け……………P.8～10
- 切断寸法式……………P.11
- 姿図……………P.12

■ 梱包明細表

● 自在桁カバー部品セット

名 称	略 図	員 数
自在桁カバー(L=2200)		1
自在桁カバーキャップL		2
自在桁カバーキャップR		2
穴隠しシール		2
ナベドリルねじφ4×13	—	7
トラスタッピンねじ(1種)φ4×12	—	4
取付け説明書	—	1

● 中間柱セット(前面スクリーン用・自在桁長尺)

名 称	略 図	員 数
後やぐら柱		1
柱固定金具		1
アンカー棒		1
トラス小ねじM5×12	—	8
取付け説明書	—	1

● 傾斜用水切り材セット

名 称	略 図	員 数
水切り本体(L=1900)		1

● 傾斜用部品セット

名 称	略 図	員 数
傾斜用水切り端部部品		2
丸木ねじφ4.5×63	—	3
トラスタッピンねじ(3種)φ4×10	—	4
平ワッシャーM4用	—	4
スプリングワッシャーM4用	—	4
袋ナットM4用	—	4
取付け説明書	—	1

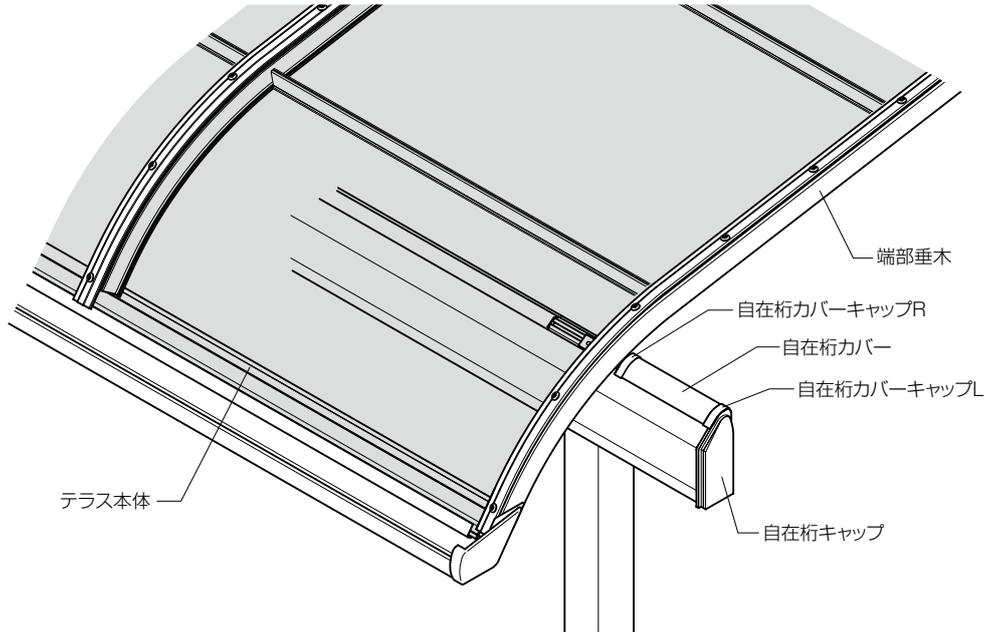
● 造付け屋根取付け部品セット

名 称	略 図	員 数	
		中間用	
		1本用	2本用
柱壁付け固定部品 (中間用アルミ)		2	4
柱キャップ		1	2
六角ボルトM8×90	—	2	4
平ワッシャーM8用	—	4	8
スプリングワッシャーM8用	—	2	4
袋ナットM8用	—	2	4
六角タッピンねじ(1種)φ6×70	—	4	8
トラスタッピンねじ(3種)φ5×12	—	2	4
平ワッシャーM6用	—	4	8
スプリングワッシャーM6用	—	4	8

自在桁はね出し納まりの取付け

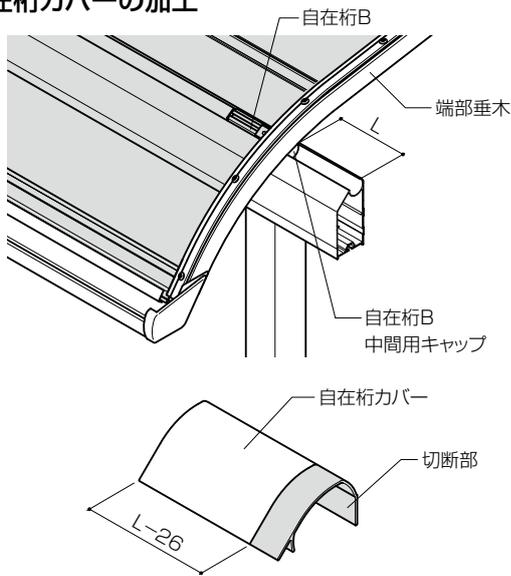
※取付けの際はテラス(自在桁)の取付け説明書と併せてご使用ください。

■構造説明図



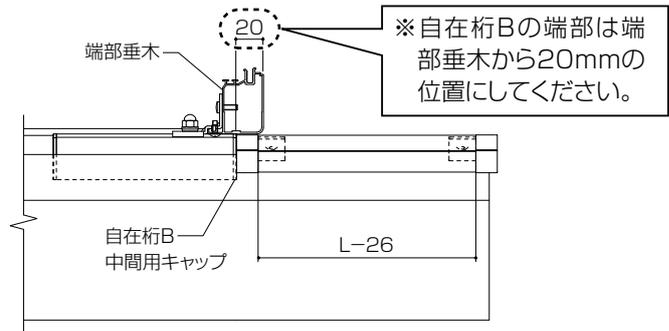
■取付け順序

1 自在桁カバーの加工

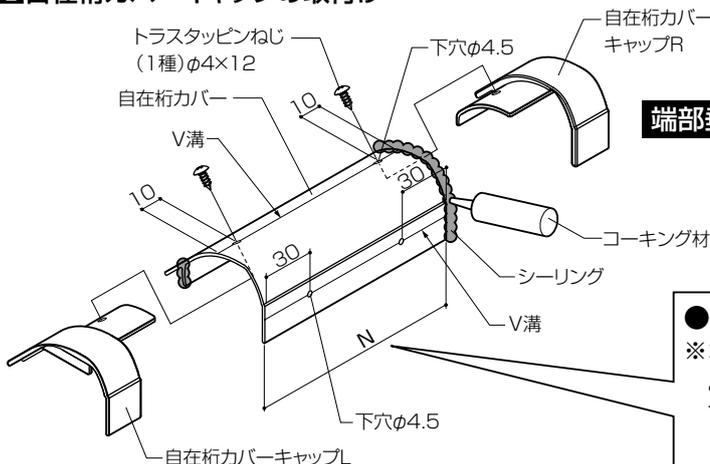


ポイント

- 自在桁B中間キャップ端面から自在桁A端部までの実測値:L
自在桁カバー切断寸法:L-26
※L寸法は2200mm以下でかつ屋根W寸法の1/3以下にしてください。



2 自在桁カバーキャップの取付け



端部垂木側

ポイント

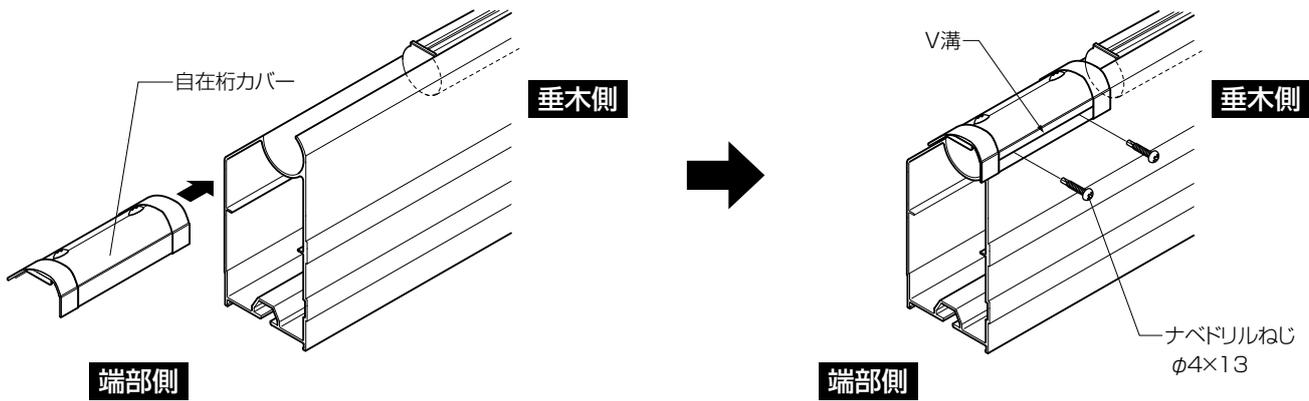
- 端部垂木側は後からシーリングできないので、端部垂木側のみキャップと形材の合わせ面にシーリングをしてください。

●下穴数

※均等に固定できるように下穴をあけてください。

N	下穴(φ4.5)の数
501未満	2
501以上1200未満	3
1200以上1700未満	4
1700以上	5

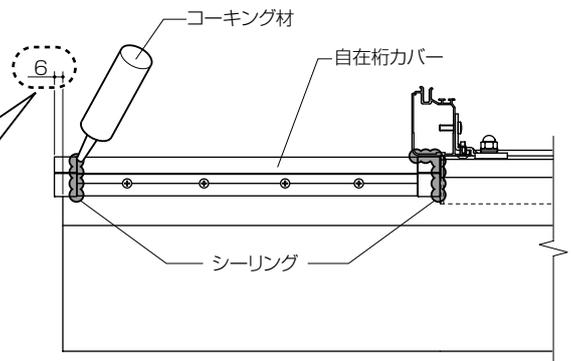
③自在桁カバーの取付け



ポイント

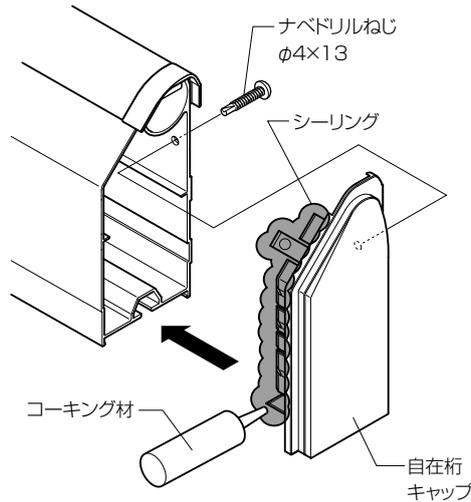
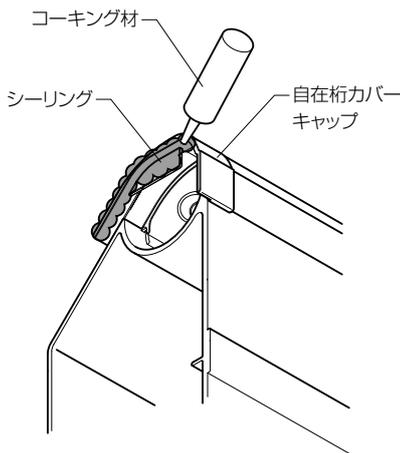
- 自在桁カバーキャップと自在桁Bの接触部分および、端部側の自在桁カバーとキャップの合わせ面にシーリングしてください。

※自在桁端部から6mmの位置に取付けてください。

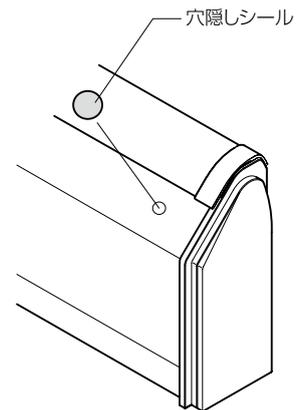


④自在桁キャップの取付け

①自在桁キャップの取付け



②穴隠しシールの張付け



ポイント

- 自在桁カバーキャップにシーリングをしてください。
- 自在桁キャップのはめ合わせ部分にシーリングをしてください。
- 自在桁キャップのシーリングはテラス(自在桁)の取付け説明書を参照してください。

後やぐら納まりの取付け

※取付けの際はテラス(3尺~6尺)又は、テラス(大型)の取付け説明書と併せてご使用ください。

■取付け順序

1 後やぐら柱の切断

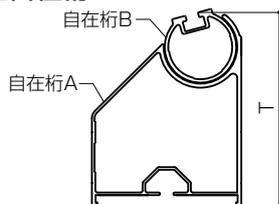
※下表を参考に後やぐら柱を切断してください。

●後やぐら柱必要長さ

=H-T+柱埋込み長さ

※H寸法は実測してください。

■自在桁



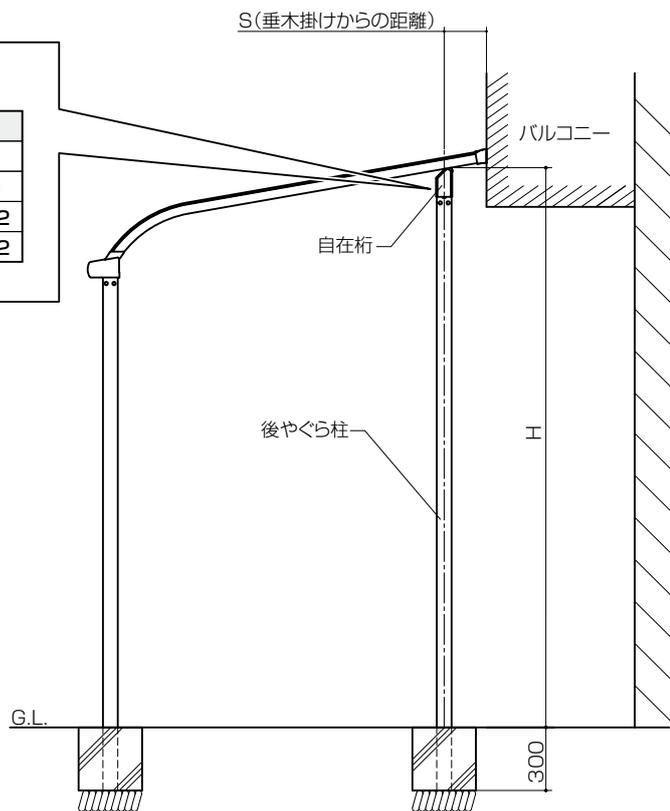
自在桁	T
A-1	94
A-2	139
A-3	164.2
A-4	184.2

●後やぐら柱取付け位置 S

- ・ $100 < S (\leq 500)$
- ・ $250 < S \leq 500$ (推奨範囲)

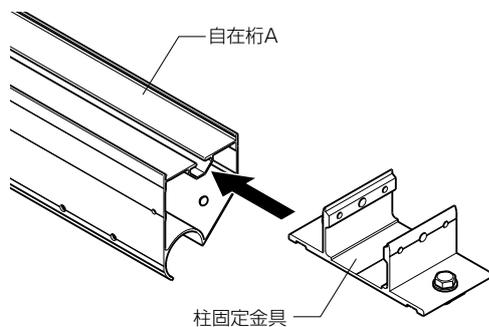
ポイント

- 自在桁は自在桁使用時の間口、出幅、強度区分に合致したものを使用してください。
- 基礎サイズはテラス本体の基礎サイズと同じにしてください。

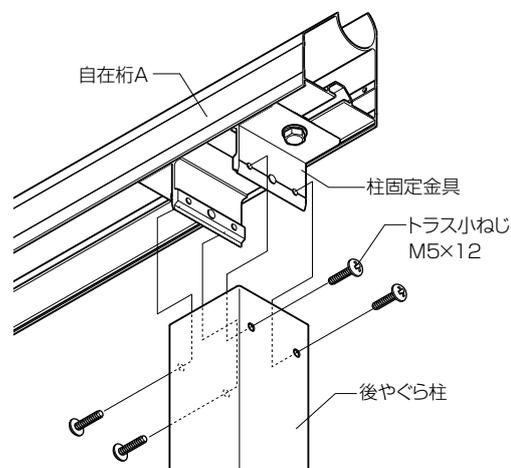


2 後やぐら柱の取付け

① 柱固定金具の取付け

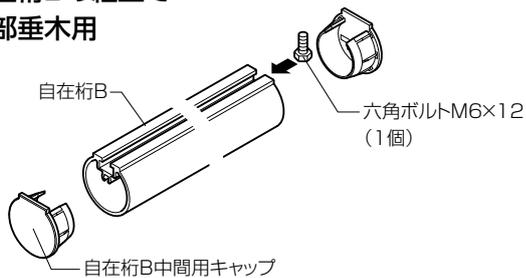


② 柱の取付け

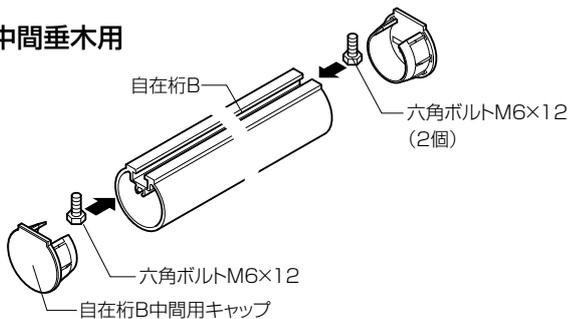


3 自在桁Bの組立て

● 端部垂木用

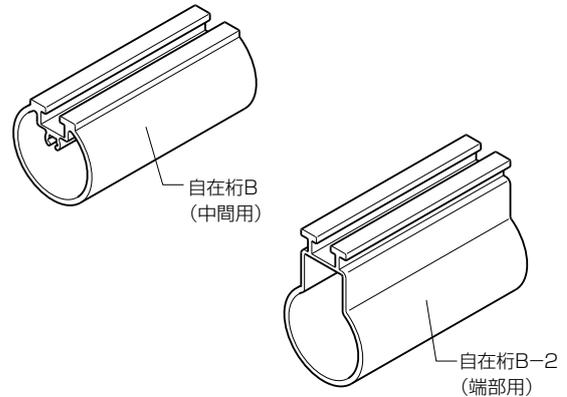


● 中間垂木用



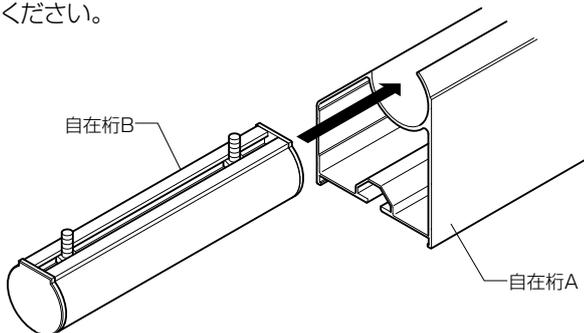
■ フラットタイプ屋根1500タイプ9尺の自在桁Bについて

※フラットタイプ屋根1500タイプ9尺の自在桁Bは端部と中間では形状が異なります。組立てに関しては他のタイプと同様です。



4 自在桁Bの取付け

● 両端に端部端部垂木用がくるように、自在桁Bを挿入してください。

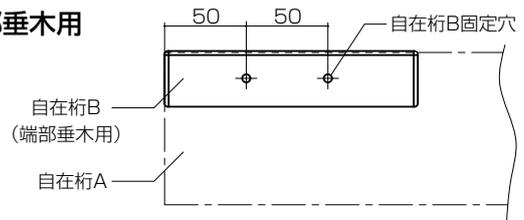


ポイント

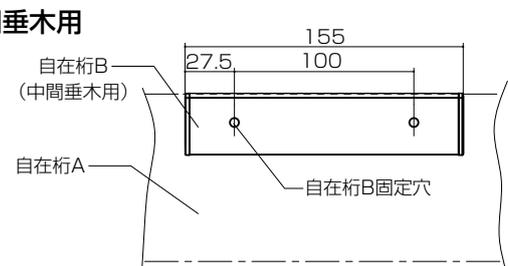
- 端部垂木用自在桁Bは自在桁Aと端部を合わせてください。
- 中間垂木用の自在桁Bは固定穴の中心においてください。

■ 自在桁B取付け位置

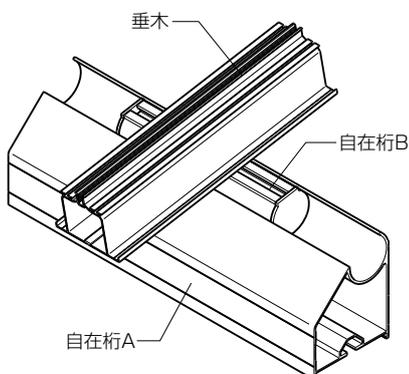
● 端部垂木用



● 中間垂木用



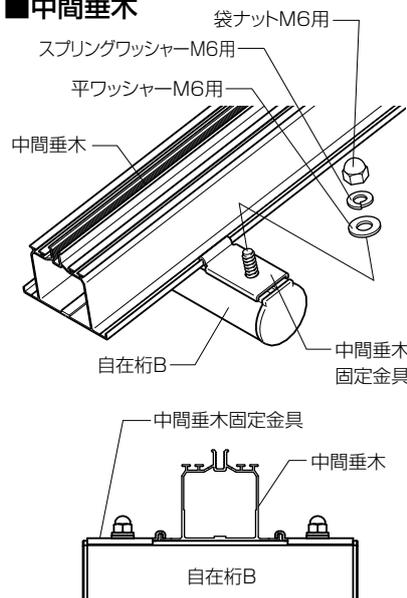
5 自在桁と垂木の組付け



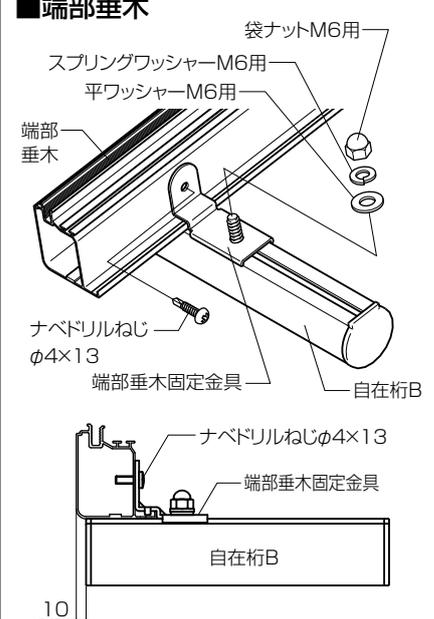
ポイント

- 端部垂木は自在桁Bから10mmはみ出した位置になります。

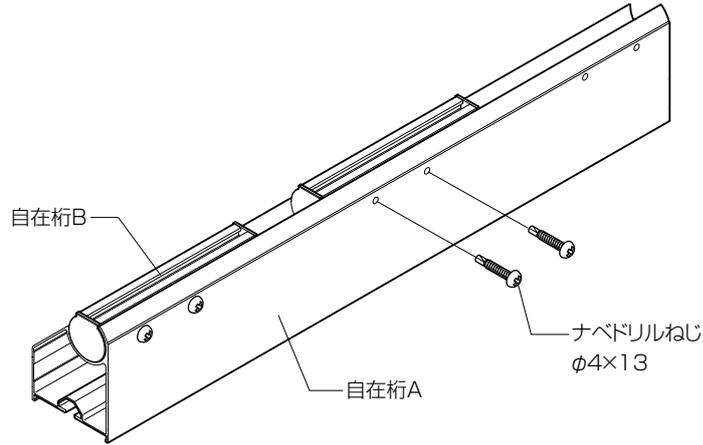
■ 中間垂木



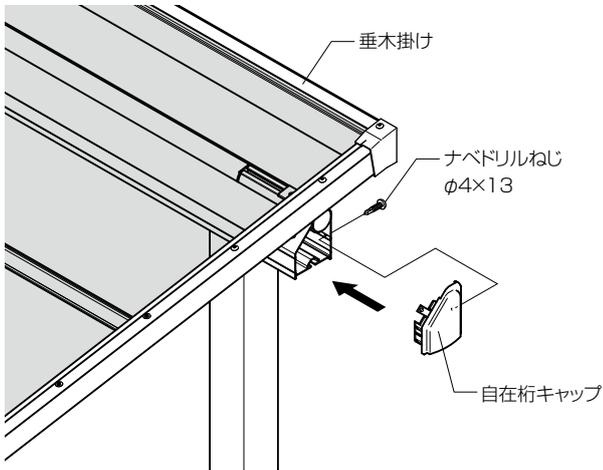
■ 端部垂木



6 自在桁AとBの固定

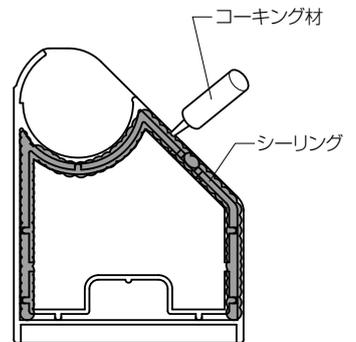


7 自在桁キャップの取付け



■自在桁キャップシーリング箇所

※自在桁にのみ込ませる部分にコーキング材を充てんしてください。下部は必要ありません。



■取付け順序

※各項の取付け詳細は、テラス(自在桁)取付け説明書を参照してください。

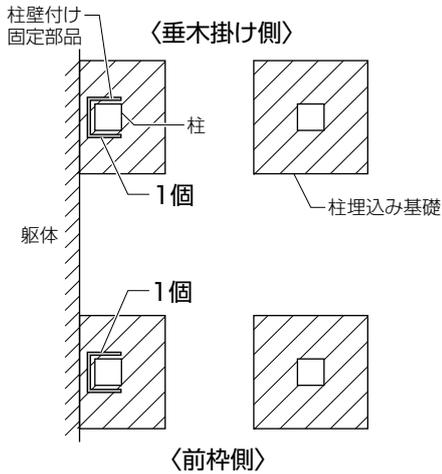
■柱の位置決めと柱壁付け固定部品の取付け

●P.11「■切断寸法図」から柱を位置決めしてください。

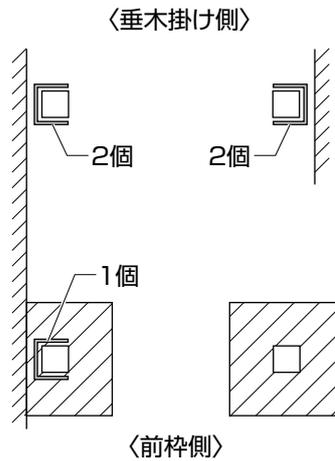
●下図「■柱壁付け固定部品 取付け個数」を確認し、必要数の柱壁付け固定部品を取付けてください。

■柱壁付け固定部品 取付け個数

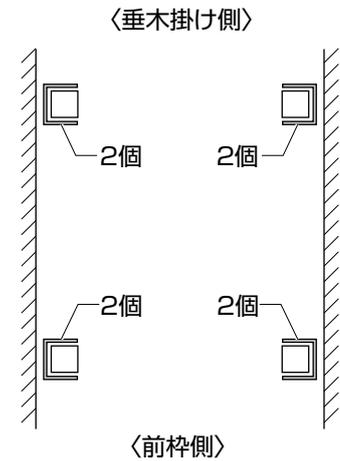
【すべての柱を埋込む場合】



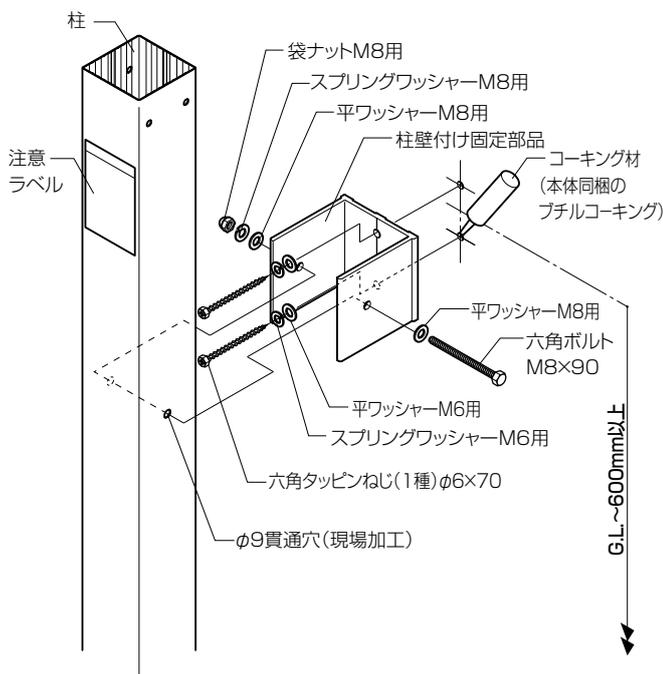
【前側の柱を埋込む場合】



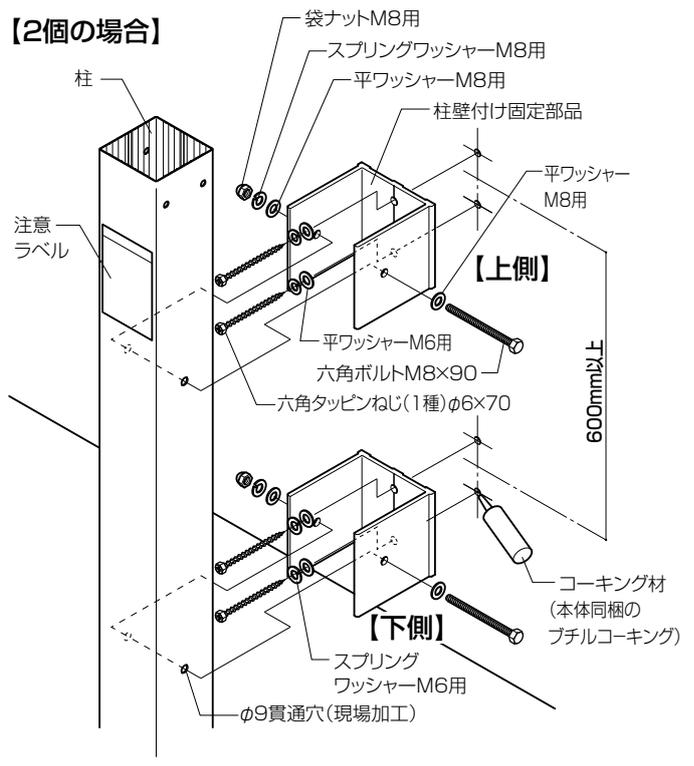
【柱を埋込まない場合】



【1個の場合】



【2個の場合】

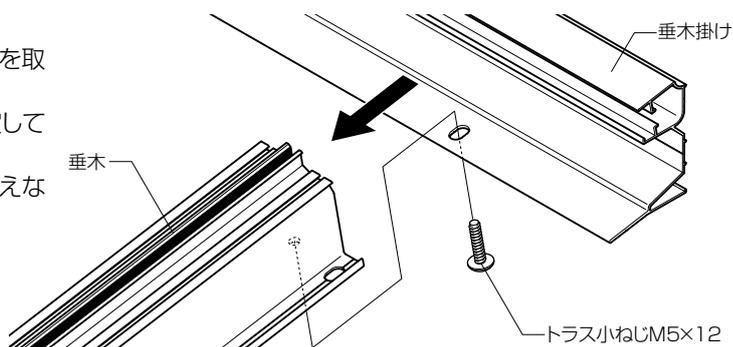


■垂木掛けの取付け

●自在桁と垂木の取付け(8)後、垂木掛けを取付けてください。

※垂木掛けは躯体に取付けず、垂木と固定してください。

※パネルを取付ける際は、垂木掛けを押さえながら挿入してください。

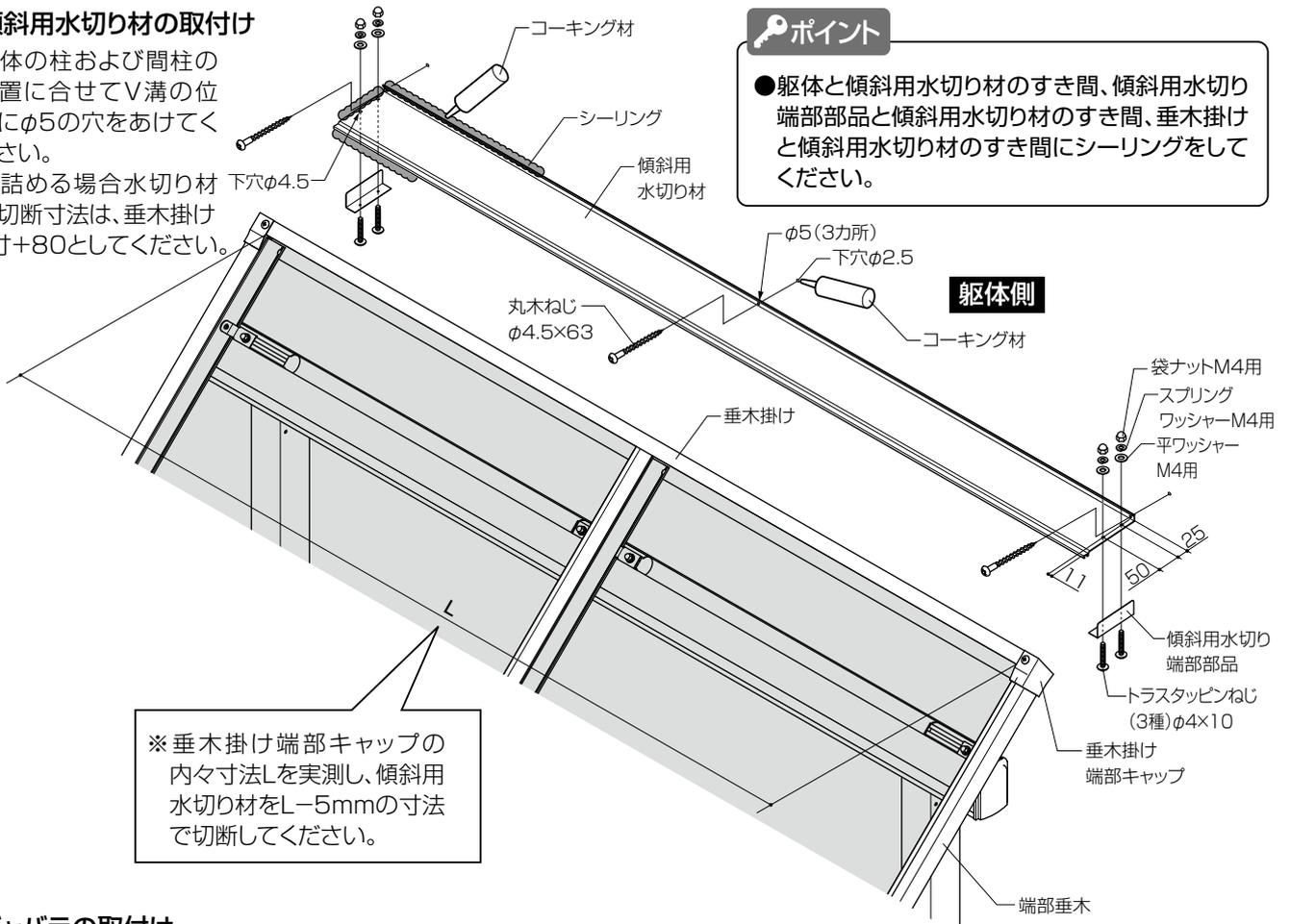


■傾斜用水切り材の取付け

- 躯体の柱および間柱の位置に合わせてV溝の位置にφ5の穴をあけてください。
- 切詰める場合水切り材の切断寸法は、垂木掛けL寸+80としてください。

ポイント

- 躯体と傾斜用水切り材のすき間、傾斜用水切り端部部品と傾斜用水切り材のすき間、垂木掛けと傾斜用水切り材のすき間にシーリングをしてください。



■ジャバラの取付け

- 自在垂木掛けの場合、ドレンエルボが使用できないのでジャバラを使用してください。

